

浦島太郎を読んだ後で、リー・エイミー
 この話は子供の時韓国で読んだ童話とほと
 んど同じであるかい、~~でも~~ ^著作家が何を教えるために
 これを書いたんだらうと聞いた^{こと}事はない。^{私は}
 だ本を読むのが大好きで、新しい話を読むだ
 けで満足であった。その時は、浦島太郎って
 かわいいそうだな^っ、~~っ~~と思っただけだ^っらう。
 今は、子供の時に比べて小説の理解力が良
 くなったこともあるであろうが、基本的な意
 見はかなり変わってないと思う。^み話は話だけ
 で、いつも教えることが^いれている必要はな
 い。特に童話だから何かメッセージがあるは
 ずだと思う~~場合がある~~かも知^れらないが、子供
 が読める話にはそれがはっきり見えない^{場合}物が
 多い~~である~~。ヘミングウェイの「老人と海」
 とか、モパサンの「首輪」、~~それとも~~ ^{また}若く死
 んじゃった韓国の天才作家、リー・サンの
 「翼」も短い話で子供~~に~~簡単に読ませられる
 物だが、一つの教えるのは見つけにくい。浦
 島太郎の~~中~~ ^話にも人生の知識がたくさんあって、

